

指導者・スタッフの確認事項

2008. 5. 25

記載責任者 原 田

■本部への挨拶

試合開始前、終了後の本部挨拶は確実に。
特に最終試合終了前に止むを得ず帰る場合は、必ず本部の了解を取ること。
上記役員・監督がいない場合は、現地代表者(引率責任者がその責を負う)。
子供たちにはシャツを入れさせ、帽子を取り、サンダル履きはさせない。

■グラウンド準備の手伝い

試合は各関係者の手配により成立します。決して、招待されお客様ではありません。
お願いして試合を組んでもらっている場合が多く、グラウンドを持たない自団のことを理解ください。
出来る限り準備の手伝いをし、大会及び各試合終了後、グラウンド整備(ブラシかけ、ゴールの撤去等)を積極的に手伝ってください。

何をやるかわからなければ、関係者に(本部等)聞いてください。
以上のことは、現地代表者が責任を持って実施してください。
スタッフがいない場合は、保護者のお父さんの協力を得てください。
チームのみんなでやることで、スタッフだけの仕事ではありません。
積極的に協力を得ましょう。それが次の試合につながります。

■グラウンドでのサングラス使用の禁止・アンダーシャツでの活動の禁止

試合中ベンチは基より、練習でのサングラスの使用は禁止でお願いします。
子供たちに威圧感を与え、他関係者・保護者への印象も良くありません。

スタッフは勿論、子供たちのアンダーシャツでの活動も止めさせてください。
クラブチーム等で試合後、夏場良く見かけられますが、
試合中、シャツはパンツに入れなさい、ソックスは下げないで上げなさい、
と指導しているにも関わらず、指導者がそれでは困ります。
他のチームは他のチーム、他の人は他の人です。
試合後のクールダウンは、シャツを着替えるとか、ソックスを下げる等、方法を変えてください。

最近、アンダーシャツタイプの袖の無いプラクティスシャツがあります。
これはアンダーシャツではありませんが、子供たちには肩を出す、肌を露出することは
怪我が多くなることを教えてあげてください。
すねあてを仮に入れていなくても ソックスを上げていれば軽い擦過傷は防げるのと同様です。

■ベンチは 役員・コーチ・スタッフ・選手 とする

保護者・当該試合以外の子供(コーチの子も含む)は、ベンチに入れないでください。
練習試合・低学年の試合でも同様で、トップチームになるまでに身につけてください。

■ベンチコントロール

主たるベンチ責任者は、暴言・過度なクレーム等、本人の自制のみならず、
他の役員・コーチの言動も管理下にあります。

選手への指示は役員・コーチのみです(県予選レベルの試合は登録者のみベンチ入り可)。
ベンチ以外の応援保護者は指示できません(これもベンチ管理者責任、注意してください)。

■事は小さいうちに対処する

試合中、練習中の子供同士の思いやりのない、汚い言葉使い・いじめ・暴力を見逃さない。

■タバコを吸いながらの子供の指示はしない

本人はちょっと、と思うかもしれませんがまわりからそう見えないことが多い。

■怪我の対応 処置を第一優先

ゲーム中であれ、子供の安全確保が第一に優先せれます。
変な打ち方をすると、帰宅後に症状が悪化する場合があります。
その時は異常なくても保護者には説明をし(事後報告も含め)、
しっかり様子を見る様お願いしてください。
異常があった場合の対応もアドバイスしてください(救急車を呼ぶとか 素人判断を避ける)。

因果関係はわかりませんが試合でなんでもなく、帰宅後入浴中に死亡した例があります。
怪我・体調不良での異常があった場合は、試合・練習に関わらず、
必ずチーム役員にも報告ください。

各指導者・スタッフの普通救命講習の受講をお願いします(消防署で実施)。
蘇生法・AED・RICE・熱中症対策・止血の方法等を共通認識としてください。

■現地代表者の役割

試合の為の移動等、余裕を持って事故の無い様にしてください。
役員(代表・監督)が常に帯同するとは限りません。
その場合は引率責任者を選任し、その方が現地代表者として運営の安全管理をお願いします。
子供たち・保護者と一緒にいる小さな子供たちも行動に注意してください。
平気で試合中、本部・ベンチ前を横切る子供たち(親も含め)がいます。
しっかりと指導をお願いします。
選手達も、試合の際の移動は本部前を通させないでください。

■ヘディング練習(運営管理上)

中学年は回数限定し、強いボール・距離を長くした練習は避けてください。
感覚を早い段階で教えるなら柔らかいボールで行ってください。
勿論、低学年での練習は不可です。
体が成長しきっていない段階でのヘディングは、脊髄損傷の危険を伴うことを認識してください。
高学年でもヘディングの過度な練習は慎むべきです。

■スパイクは4年以上からにしています(運営管理上)

理由は現在使用のクレーのグラウンドでは、土が固く突き上げ強いため、
低学年の成長期の子供には適しません。
メーカーが販売のために製作していることが困ったものです。
グラウンドの実情に合っていない。3年以下はトレーニングシューズを使用して下さい。

■ライセンス取得の推奨

日本サッカー協会C級・D級の取得の援助をします。
本人の希望またはチームからの推薦により、チームへの貢献が可能と役員が認めた場合は、
費用を援助します。
今後、トップチーム(試合)のベンチワークはD級以上の取得者が条件になります。

日本サッカー協会4級審判員は、チームとして指導者の必要事項とします。
上級資格3級審判員の取得に関しても、条件が整えば取得への推薦を行います。
スタッフに関しては、指導者に準じて取得してください。
運営には必要な資格です。
自らの積極的な取得、並びにチームからの取得依頼に協力願います。

■みんなで運営に協力しましょう

教えることは楽しいことです。子供たちの成長は楽しみです。
ただ、それだけでは運営できません。
教えるだけでなく、ひとりひとりが何んらかの役員・役職を持つよう希望します。
出来る範囲で結構です。役割分担に協力をお願いします。
―指導者、―役職が理想です。

■審判の実施

審判の技量の有無に関わらず、無資格では行わないでください。
フレンドリーの練習試合、審判の技術向上の目的とした練習試合、
チームの責任者が認めた練習試合は除きます。

■他人の大人の役割

核家族の現代社会では、家族以外の大人と接することは子供にとって非常に大切です。
その役割と責任を持って、偏った感情で相対することの無い様、心がけましょう。

以上